

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	システム工学実験第一		
英文授業科目名	Systems Engineering Laboratory I		
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	実験	単位数	3
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	T全教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
板倉直明 金路	

【主題および達成目標】
経営工学、制御工学、電気・電子工学、人間工学など様々な視点から、システム工学について実験を通して習得する。システム工学についての理解を深め、それぞれの分野の能力やスキルを修得することを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
各実験項目毎に資料を配付する。

【授業内容とその進め方】
ガイダンスの後、下記の8項目についてそれぞれ3週間にわたり実験を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 1. 制御工学 2. 経営工学 3. 品質・信頼性工学 4. 生産システム工学 5. アナログ回路

電気通信大学 平成21年度シラバス

- 6. デジタル回路
- 7. ソフトウェア工学
- 8. 生体情報

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

出席及び欠席・遅刻・早退、実験への取り組み方、報告書を総合して評価する。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

各実験項目の担当教員の指示に従うこと。

【オフィスアワー：授業相談】

実験の単位を修得するためには、全ての実験に真摯な態度で取り組み、適切な報告書を期日までに提出する必要があります。また、実験前日は十分な睡眠をとり、気力・体力の充実した態勢で実験に望むことを希望します。

【学生へのメッセージ】

実験の単位を修得するためには、全ての実験に真摯な態度で取り組み、適切な報告書を期日までに提出する必要があります。また、実験前日は十分な睡眠をとり、気力・体力の充実した態勢で実験に望むことを希望します。

【その他】

システム工学実験第二と合わせて評価します。